

科目名	キャリアプランニング 1							年度	2024
英語科目名	Career Planning-1							学期	前期
学科・学年	コンサート・イベント科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	0
担当教員	小山慶・島立妻人・森岡重樹・小峰建・吉野雄一郎・嶋田円歌		教員の実務経験		有	実務経験の職種		音楽・イベント系企業	
【科目の目的】 ・専門学生として 2 年間の学生生活の中で達成すべき目標を設定する ・その目標を達成するためのプロセスをクラス担任と共に追求する ・専門学校卒業後社会人になる際に必要となる一般常識やマナーを身に付ける ・就職活動における企業の探し方、見極め方、履歴書の作成の仕方やアプローチ方法を習得する									
【科目の概要】 ・自分自身を第三者的目線で振り返る ・自身の性格や特性を理解した上で人生の道筋を検討していく ・2 年間の在学期間中、常に目標意識を持って過ごすことができるよう、クラス担任と共に振り返りを行う ・ツールとして日々を 3 行にまとめる日記課題を週に 1 度実施する									
【到達目標】 ・学生生活の 2 年間に有意義なものにすること ・人間力を感じられる魅力的な社会人になること ・社会人としての立ち居振る舞いや話し方を身に付ける ・就職活動を行った結果、一番納得のいく進路を選ぶこと									
【授業の注意点】 専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。職業訓練とは、2 年後の自分自身の生きる糧・力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方を持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル 5 優れている	レベル 4 よい	レベル 3 ふつう	レベル 2 あと少し	レベル 1 要努力				
到達目標 A	学科から目指すことができる 業種・職種を理解すると共に、 進路を定めるための情報 収集を自ら進んで行っている。	学科から目指すことができる 業種・職種を理解するための 努力をしており、進路の定める ための情報収集を必要に応じて 行っている。	学科から目指すことができる 業種・職種について知ること ができ、進路を定める ために情報を見ている。	学科から目指すことができる 業種・職種について知ろうと しているが、具体的に進路を 定めるための行動をなんとなく している。	学科から目指すことができる業 種・職種について知ろうとせ ず、進路を定めるための自主 的な行動は一切していない。				
到達目標 B	就活に向けて自らスケジュー ルの確認・調整をし、スター トダッシュを切るための取組 を独自に行っている。	就活に向けて自らスケジュー ルの確認・調整をしている が、スタートダッシュをきる ための取組は特におこなって いない。	就活に向けてスケジュールの 確認・調整をしなければと 思っているが何となく日程を 把握しているだけであり、具 体的な行動はしていない。	就活に向けてスケジュールの 確認・調整をする必要性は感 じているが、特に行動を起こ さない。就職に対する意欲が 全く感じられない。					
到達目標 C	履歴書の書き方を理解して おり、自由フォーマット作成 の自己PRについてもPCor手 書き問わず工夫を凝らして自 分らしい作品に仕上げるこ ができる。	履歴書の書き方は理解して いるが自由フォーマット作成 の自己PRについては手書き orPC作成のどちらかの方法 で作成ができる。	履歴書の書き方は理解して いるが自由フォーマット作成 の自己PRについてはレポート のようになってしまい、いま い工夫がみられない。	履歴書の書き方を理解して おらず、自由フォーマット作 成の自己PRについても十分 アピール素材として作成す ることができていない。	履歴書の書き方も自由フォー マット作成の自己PRについ ても作成方法を理解してお らず、自ら理解しようとい う姿勢見られない。				
到達目標 D	面接の場でなくとも普段から 気持ちよくコミュニケーション を取れる話し方を習得して おり、就活において純分に発 揮できる。	笑顔で挨拶はしてくれるが 会話が苦手である。今後大 人のコミュニケーションに慣 れれば十分社会で通用して いくと思われる。	笑顔ではないが声を出して 会話をしつつ挨拶ができる。 会話している時に表情の 変化が見られないことがあ るが、今後改善されるだ ろう。	笑顔ではない上に声も小 さく挨拶をしているのか分 かりづらい。愛想よく見え ないこともあり、社会に てたら苦労するだろう。	笑顔どころか挨拶もせず、 目上の人の目を素通りして しまう。話しかけられても そっけなくコミュニケーション が取れない。				
到達目標 E	出席率、課題提出率共に100% で、問題なく科目合格点を 出せるレベルである。	出席率、課題提出率共に90% -99%で、問題なく科目合格 を出せるレベルである。	出席率、課題提出率共に80% -89%で、問題なく科目合格 を出せるレベルである。	出席率、課題提出率共に70% -79%で、一応科目合格を出 せるレベルである。	出席率、課題提出率共に60% -69%で、一応科目合格では あるが今後不安があるレベ ルである。				
【教科書】 スライド資料、配布プリント、「ビジネス能力検定ジョブパス公式テキスト」									
【参考資料】 ビジネス能力検定 3 級 公式テキスト、一般常識問題ドリル									
【成績の評価方法・評価基準】 * 試験と課題を総合的に評価する。 * 授業内容の理解度を確認するために実施する。 * 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		キャリアプランニング 1				年度	2024
英語表記		Career Planning-1				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	自己振り返り	今後の時分を形成するために今の自分を知る	1	小学校の自分	小学校の頃の自分を振り返る	2	
			2	中学校の自分	中学校の頃の自分を振り返る		
			3	高校の自分	高校の頃の自分を振り返る		
2	目標設定	これまでの振り返りをふまえて専門学校生活における目標を設定	1	これからの自分	どんな自分に変化していくかを予測する	2	
			2	大目標を設定する	卒業時に自分がなっていたい姿を考える		
			3	小目標を設定する	大目標を元に小目標を設定する		
3	マンドラチャート	自らの目標を当てはめてみて考察する	1	概要説明	マンドラチャートの概要を説明する	2	
			2	事例紹介	マンドラチャートの事例を紹介する		
			3	作成	実際に作成する		
4	マンドラチャート	作成したものを発表し共有し合う	1	発表	マンドラチャートをグループ発表する	2	
			2	意見	発表を聞いた者から意見を貰う		
			3	完成	マンドラチャートを完成させる		
5	人間力とは	他人が人間力を見極める要素とそもそも人間力とは何なのか	1	人間力とは	社会的に受け入れられる人柄とは	2	
			2	ディベート	グループで話し合い、結論を出す		
			3	発表	グループ同士で共有し合う		
6	人間力とは	人間力を高めるためにすべきこととは何か	1	すべきことは何か	人間力を高めるためにすべきこととは	2	
			2	ディベート	グループで話し合い、結論を出す		
			3	発表	グループ同士で共有し合う		
7	ライフプラン	在学中から卒業までどのような生活	1	現在の生活	学校に慣れてきた今の生活を振り返る	2	
			2	改善点を探す	時間を守る、アルバイトをするなど改善点を出す		
			3	進級まで、卒業まで	時間を無駄にしない生き方を考える		
8	ライフプラン	卒業からどのような人生	1	生活に必要なもの	仕事、お金、家・・・その他に何が必要か	2	
			2	仕事の充実度	どのような仕事に就いてどれほど稼ぐか		
			3	キャリアアップ	「評価」「出世」を理解する		
9	コース選択	実習におけるコース選択	1	コースの理解①	希望職種に直結しているかを考察	2	
			2	コースの理解②	希望する内容が学べるコースかを考察		
			3	コース決定	コースで学んだことを将来にどう生かすか考察		
10	履歴書	個人情報の書き方	1	履歴書の左半分	履歴書は自分を映す鏡・文字は綺麗に書く	2	
			2	住所欄	現住所や帰省先住所の考え方		
			3	学歴職歴欄	卒業した学校名の書き方・職歴の書き方		
11	履歴書	志望動機の書き方	1	結論から書く	最初の2行で伝わる志望動機	2	
			2	根拠を書く	面接で深掘りしたくなる志望理由の「根拠」		
			3	この会社が良い理由	受験先企業との親和性		
12	履歴書	自己PRの書き方	1	自分はどうな人	性格診断テストの実施	2	
			2	人柄をまとめる	以前の振り返りも参考に自分の人柄をまとめる		
			3	自分の強みとは	自らの強み・アピールポイントを考える		
13	履歴書	専門科目の書き方	1	自己PRとの差別化	内容が被らない書き方を身に付ける	2	
			2	実習の取組み	作業している姿が目につかぶ書き方を心掛ける		
			3	研究した内容	科目を通じてどのような研究をしたかをまとめる		
14	履歴書	課外活動の書き方	1	アルバイトの書き方	どのように仕事に取り組んだかのアピール	2	
			2	体験入学の書き方	どのように広報活動に寄与したかのアピール		
			3	ボランティアの書き方	どのように社会貢献活動をしたかのアピール		
15	面接マナー	一般的な面接の流れ	1	企業訪問からの流れ	服装、挨拶の仕方など	2	
			2	面接中の受け答え	話の聞き方と受け入れられやすい話し方		
			3	御礼と退散の仕方	最後まで気を抜かないように注意を払う		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等